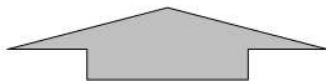


施策：	17	子育て支援の推進	財務コード	01030210-02-268
基本事業：	03	地域における子育て支援	担当部	健康福祉部
基本事業の成果指標	急用時等に子どもを預ける場所がある又は人がいる保護者の割合 他の親子と交流している乳幼児をもつ保護者の割合		担当課	子育て支援課
			担当係	子育て支援担当



事務事業が貢献すべき成果

計画年度	平成02年度 ~	新規・継続	継続	会計区分		実施計画
1. 対象（誰、何に対して事業を行うのか）		2. 手段（事務事業の内容、やり方、手順）				
乳幼児と子育て中のその保護者		子育て支援センター職員が、市内の公共施設にて親子教室等を開催。 まなびの広場（親子教室）月齢に応じたクラスで実施（全て定員10組/回、年8回） ・ひよこ組、あひる組、うさぎ組、ぱんだ組（月齢が幼い順に表記） か-ゆ（和室）、筑紫南コミセ、生涯学習センターにて開催 子育てサロン ・もこもこタイム：0歳～就学前の子どもと保護者。年に62回。 ・赤ちゃんタイム：2か月～11か月の子どもと保護者。年に28回。 二日市東コミセ、か-ゆ、筑紫南コミセにて開催 子育て講習会 ・子育てに関する講習会を市内で開催：年9回 ・父親を対象とした育児講座等を市内で開催：年1回。 【根拠法令】子ども・子育て支援法、【補助金】子ども・子育て支援交付金（地域子育て支援拠点事業費補助金）（国・県・市 各1/3）				
3. 意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）						
子育て支援のひとつとして育児に悩んだり、相談するところもなく孤立している親に、子育ての方法を知らせたり、子育て仲間を作るきっかけづくりをし、保護者の子育ての不安を解消している。また、子どもが健やかに成長できるように支援している。						
4. 成果（簡易評価は未記入）						

成果指標名称	単位	03年度	04年度	05年度	06年度	07年度	08年度	目標
		実績	実績	当初	要求	計画	計画	
親子教室参加者数	人	338	589	338	589			2,300
子育てサロン参加者数	人	2,707	3,109	2,707	3,109			8,000

5. コスト								
事業費	計	千円	137	95	179	171		
	国	千円	45	31	60	57		
	県	千円	45	31	60	57		
	地方債	千円	0	0	0	0		
	その他	千円	0	0	0	0		
一般	千円	47	33	59	57			
正職員人工数	人工	0.1	0.2	0.2				
正職員人件費	千円	792	1,546	1,563				
トータルコスト(事業費+正職員人件費)	千円	929	1,641	1,742	171			

6. 成果状況及びコメント（簡易評価は未記入）	
あがっている どちらかといえばあがっている あがっていない（停滞・低下）	< 状況 > 親子教室の参加者数及び子育てサロン参加者数は共に増加した。 < 原因 > 親子教室参加者数は、コロナウィルス感染症防止対策緩和により、受け入れ組数や人数の枠増加による。

7. 評価及びコメント（簡易評価は未記入）			
対象動向	維持	類似事業	なし
手段効率化余地	なし	コスト削減余地	なし
公的関与	妥当性がある	受益者負担	余地なし
上位貢献度	影響度は中	業務推進課題	あり
成果向上余地	中程度		

8. 改善改革案（簡易評価は必要な場合のみ記入）	改善方向性	維持	見直し	廃止	事業終了
--------------------------	-------	----	-----	----	------

新型コロナウイルス感染防止対策緩和策として、予約を廃止する。それにより、子育てサロンに自由に参加することが可能になる。 利用者支援事業相談員を通じて、地域サロンとの繋がりを持ち、地域における子育てサロンの充実や活性化を図るように検討する。	
事業開始背景及び現在の環境変化（市民・議会等の要望）	備考・特記事項 or 進行管理欄
少子化や核家族化の進行、地域との関わりが薄れるなど、家庭や地域における子育て機能の低下や、孤独感や不安感を抱えながら子育てをしている親が増加している。	